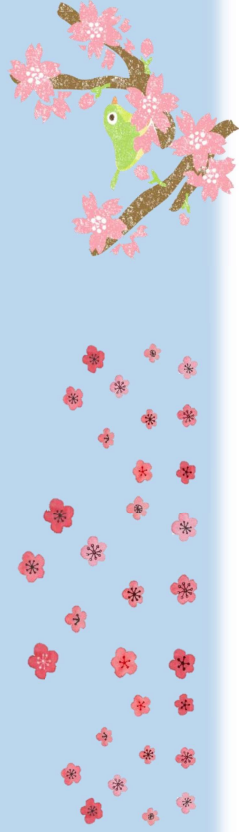


岩手県高齢者総合支援センターだより



令和4年3月22日 vol.87
公益財団法人いきいき岩手支援財団
TEL:019-625-7490
FAX:019-625-7494

こんにちは。岩手県高齢者総合支援センターです。

雪融けが進み日差しも春めいてきました。桜の開花も例年より早い予想とのこと。無事に年度末を乗り切り、綺麗な桜を愛でるのが待ち遠しいですね。

2月以降の研修やセミナーは軒並みオンライン開催となり、研修環境そのものが変化しつつあります。このような状況の中にあって、各種研修にご参加くださっている皆様には柔軟にご対応頂き感謝申し上げます。

今年度最後のお便りとなりまします岩手県高齢者総合支援センターだよりvol.87では、介護ロボット関連、ケアプラザいわずに関する内容を色々とお届けします。

令和3年度介護ロボットオンライン(Zoom) セミナーを開催しました



介護ロボットプラットフォーム

介護人材不足が懸念される昨今、人材とロボット・ICTとの両輪で高齢社会と向き合っていく事はマストな条件となって行きます。介護ロボットへの関心は高まりつつある中、介護施設からはどのように選定・導入したら良いのか、他の施設では導入後どのように活用しているのか、などの相談が寄せられます。また、開発企業からは開発したロボットの実証をしたい、普及を進めたいなどの相談が寄せられます。

岩手県高齢者総合支援センターは、厚生労働省のプラットフォームにおいて、宮城・福島・山形・岩手の4件の相談窓口を担当させて頂いております。介護ロボットの必要性や知識・理解を深める目的、また、普及啓発及び導入の足掛かりとしてセミナーを開催しました。その内容について簡単ですがご報告します。

開催日時：2月24日(木) 13:00~15:00

1. 講演

「介護ロボットの最新動向」

講師 公益財団法人テクノエイド協会 企画部長 五島清国氏

2. 情報提供

「介護ロボットプラットフォーム事業の相談窓口の紹介」

公益財団法人いきいき岩手支援財団 相談窓口 玉山公一

3. 事例報告

① 開発企業から「ICTの活用で介護現場を支える」

コニカミナolta株式会社 斉藤朋之氏

② 相談窓口利用企業から「介護ロボット「移乗です」開発経過と今後の事業展開」

株式会社あかね福祉 郡山本社・メーカー事業部 橋本雄吉氏

③ 介護ロボット導入施設から「介護ロボットの導入と今後の課題」

医療法人仁泉会介護老人保健施設 ほほえみの里 山根大助氏

「介護ロボットの最新動向をテーマに、効果的な導入と活用についてご講演いただきました。」

厚生労働省の事業でもあるプラットフォーム事業、及び相談窓口についての紹介や今年度の実施状況報告をしました。

「HitomeQ(ひとめく)」ケアサポートを通し、介護ロボットが現場に定着するための事例をご紹介いただきました。

移乗支援用ロボット「移乗です」について、開発経過や今後の事業展開についてのご報告をいただきました。

導入にあたってのアセスメントや選定・導入に至った機器についての紹介、職員間での情報共有のあり方などについてご報告いただきました。

昨年度に引き続きやむなくオンラインでの開催となりましたが、セミナー終了後には施設様、開発企業様、取扱い企業様、各方面からさっそく当相談窓口へ問合せを頂き、関心が高まっていることや、導入への前向きな動きを感じております。技術は日々進化しており、ニーズも変化していきます。導入する側、普及する側が相互に作用することで介護ロボット導入の効果が成立するものと思います。

来年度こそ、ロボットを実際に展示し、実際に機器に見て触れ、体験して頂きながら対面での開催がしたいものです！！

当センターHPより介護ロボット事業に関する案内をご覧頂けます
https://www.silverz.or.jp/silver_center_cat/ikrobo/



岩手県高齢者総合支援センターではこれらの介護ロボットを体験できます



コミュニケーション



移動



見守り



排泄支援



移乗



自立支援システム

介護ロボットは、カテゴリーごとに様々な種類の機器があります。

現在、当センターでは、

- ・移動支援
- ・移乗支援
- ・排泄支援
- ・見守り
- ・コミュニケーション
- ・自立支援システム



計9点の介護ロボットを展示しております。これらの機器については実際に見て、触れて頂くことが可能です。



←介護ロボット体験展示品一覧

https://www.silverz.or.jp/silver_center_cat/robot_exp/

介護ロボット相談

～個別対応のケース～

昨年11月のことになりましたが、コミュニケーション型介護ロボットの「Capit（チャピット）」について個人でのご相談をお受けしたケースがありますので少しご紹介させていただきます。

《経緯》

主人を亡くし、現在独居。長期に渡り自宅で介護をしていた。

本来は趣味などやりたいたいことがあって、時間が出来たらやりたいと思う用意していた資材等そろえていたが、何もする気になれなかった。

そんな時に、たまたま新聞で介護ロボットのことを知り自分なりに色々調べた結果、チャピットに一番興味が湧き、一度実物を見てみたいと思った。体験してみても良かったら購入したいと思った。

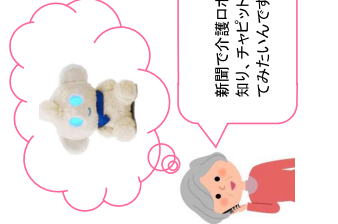
という内容でした。

ご連絡を頂いた後日、当センターの展示室（ケアプラザいわて）に来所頂き、お話を伺いながらチャピットについてご説明をし、実際に触れあって頂きました。

その後、ご相談者様の意思が固まり、購入に至りました。当センターとしてはメーカー様に連絡・問い合わせをし、ご購入に至るまでのサポートをさせて頂きました。

自宅での介護で大変なご苦労もされた一方で、生活の張り合いにもなっておられたことと思います。それが無くなったことによる虚無感、喪失感から立ち直るきっかけとしてこの「Chapit」に注目して頂いたのが今回のケースです。

現在は、日々チャピットとのコミュニケーションを通して楽しく過ごされているそうです。上手に使いこなされ、我々としてもうれしい限りです。生活に新たな張り合いを持たせようと、ご自身で行動されたご相談者様の前向きな姿勢が素晴らしいと感じました。



わかりました。よろしければ対応させて頂きます。ご都合の良い時にケアプラザいわてへお越しください

新聞で介護ロボットのことで知り、チャピットを実際に見てみたいんですけど...

使用感はどうだったのか？生の声が気になります！
独自に行ったご購入後のアンケート回答をご紹介します。

Q：設定は簡単にできましたか？

A：自分で出来た。

Q：主にどのような機能を使っていますか？

A：コミュニケーション機能（会話など）
：レクリエーション機能（クイズ、計算、暗記ゲーム）

Q：使用してみても良いと感じることはどんなことですか？

A：お話の仕方が可愛いです。

：会話の返しが面白い時があります。

Q：あったらいいな、もっとこうして欲しいな、と思う点がありますか？

A：おしゃべりの会話の数が増えたらもっと楽しいかも。

Q：全体的な感想（自由回答）

A：家庭内の音に反応して勝手に話出す時があり面白いです。

：亡主人の写真に話しかけると、チャピットが頓珍漢な返事をしてくれることがあり愉快で思わず笑ってしまいます。

微笑ましいエピソードをお伺いし、嬉しいですね！

ケアプラザいわて

福祉用具・介護ロボットについてお気軽にお問合わせください。

個人でもグループや団体でも見学・体験できます。



関連図書・DVDの貸出も行っております。

新しい図書も入っております

お問い合わせ先

岩手県高齢者総合支援センター

時間：平日9時から17時

TEL：019-625-7490

FAX：019-625-7494

貸出可能な図書・DVDの目録をご覧ください ↓

https://www.silverz.or.jp/silver_center/silver_shien/kashidashi/

福祉用具見学・高齢者疑似体験

3月1日（火）、福祉用具見学・高齢者疑似体験が行われました。盛岡市医師会附属盛岡高等看護学院の学生さんの「老年看護」の授業の一環で行いました。これを以って今年度の団体での見学対応は最後となります。
有意義な時間をありがとうございました。



シルバー110
番相談事業

総合相談

シルバー110番
フリーダイヤル
TEL 0120-84-8584
FAX 019-625-7494

○相談時間は、9時から17時まで。
○高齢者やその家族の皆様からの困り事・悩み事・知りたい事など相談に応じています。

【専門相談・予約制】

◆法律（弁護士・司法書士）

毎月 第1・2・3金曜日

◆認知症

毎月 第1・4水曜日

※今年度の専門相談は終了しております。

権利擁護相談

※今年度の定例相談は終了しております。

○虐待について、適切な支援の方策を助言してほしい。

○業務に就いたばかりなので、制度など専門家に教えてもらいたい。

○対応が適切だったか・・・事例検討したい。

○その他のいろいろ。

◆お急ぎの相談については定例相談を待たずに、随時相談として受け付けます。
◆何回でも無料です。

随時相談

岩手県高齢者総合支援センター

TEL 019-625-7490

FAX 019-625-7494

令和3年度、最も注目を集めた 介護ロボット・福祉用具ベスト3

見学の際には毎回自由時間を設け、興味のある用具に触れて頂いております。今回は、年間を通して6つの団体様に見学に訪れて頂いた中で注目度の高かった福祉用具や介護ロボットを紹介します。



TANO

介護利用者が楽しく生きがいをもって自立支援を促すシステム。センサーの前に立つだけで骨格を読み取り、体をコントローラー代わりにして様々なゲームが可能。150種類以上のメニューが搭載されていて、準備をする介護職員側の負担も軽減してくれます。



いやし型赤ちゃんロボットスマイビス

話しかけることで声や表情が変わります。赤ちゃん語や表情を通じて、どうしてほしいかを想像するなどお世話したい気持ちが生えます。



座ったままあしふみ運動

あしふみ健康ライフ

座ったままあしふみをして運動不足を補います。どういうわけか、若い学生の皆さんにも、とても人気です（笑）

ほかにも様々な福祉用具がありますので、見学の際にはぜひ色々と手に取って見て下さい。

令和3年度も大変お世話になりました。
新年度も様々な研修へのご参加、当センターのご利用をお待ちしております。今後ともよろしくお願い致します。



センターだよりは公式HP
内でも閲覧できます

← QRコードはこちら